

山ノ内町パブリックコメント制度(町政への意見提出手続)結果公表案件

1. 意見募集の概要

1. 案件名	過疎地域持続的発展山ノ内町計画
2. 募集期間	令和7年11月12日(水)～令和7年12月11日(木)
3. 意見等の 受付件数	1人 3件 (提出方法の内訳：郵送0人、FAX0人、電子メール1人、持参0人)
4. 所管部局 (問い合わせ先)	未来創造課 地域創造係 TEL：0269-33-3113 FAX：0269-33-4527 電子メール：sozo@town.yamanouchi.lg.jp

2. ご提出いただいたご意見と町の考え方

※提出された意見等を内容により整理し、意見等の概要として掲載しています。

内容	ご提出いただいた 意見等の概要	町の考え方
全体の構成における「将来ビジョン」について	山ノ内町がどんな未来を目指すのかというビジョンが示されていないため、何のための施策か伝わりづらい。冒頭に、「志賀高原・温泉街・里山農地の3つの地域が、お互いを尊重して補い合いながら、持続的な町を目指す」という地域理念を記述してはどうか。	本計画案は、町の総合的な将来ビジョンを示す第6次山ノ内町総合計画を基本に作成しています。ご提案は、基本方針において地理的理念の面から方向性を伝えるヒントとして受け止め、理解を深める表現の工夫に努め、具体的な施策立案の段階において当該理念を反映していく所存です。
「過疎」の意味付けについて	過疎地域ならではの価値や魅力が十分に語られていない。「自然・人・暮らしの距離が近く、豊かな関係性が生まれる」という過疎の価値を再定義してはどうか。	町の概況の項において地理や自然、産業における地域のポテンシャルについて記述しておりますが、本計画においてその価値をどのように認識、活用して持続可能なまちづくりにつなげていくかという点も一つのテーマと認識しています。
構造について	計画の構造が国のテンプレートのままで、山ノ内町が持つ多様な地域性が正しく位置付けられておらず、個性が見えない。3つの地域の役割を明確にして補完する関係を整理し、統合ビジョンとして方向性を示してほしい。	本計画は、国の様式に沿って策定しており、分野ごとに現況・課題・対策を整理する構成としています。特に産業分野において地域の特性を魅力として記載しておりますが、地域のイメージを固定せず可能性を広く見だし、施策展開につなげていきたいと考えます。